



法学部同窓会会長

町田 徳男

公益社団法人
京都工業会 理事・事務局長
法学部法律学科
1980（昭和55）年卒業

龍谷大学法学部創設50周年祝辞 共に歩む

5 母校、龍谷大学法学部が創設50周年を迎えられますことを心からお慶び申し上げます。

龍谷大学の輝かしい歴史の中であって、我々法学部同窓生の総てが学び、そして育まれた法学部が、半世紀もの歳月を重ねることができましたことを誠に嬉しく思います。これも偏に、学生のことを親身になって思い、熱心に教育をして頂いた多くの教員の方々と、大学を裏方で支え続けてこられた職員の皆様のご労苦の賜物と心から感謝申し上げます。

創設当時から今日まで、龍谷大学と社会は大きく変化して参りました。

深草キャンパスは、創設当時から想像もできないほど立派になり、現在では、総ガラス張りの「和顔館」も建ち、まさに21世紀の大学に相応しい学舎に変貌を遂げました。教育も充実し、卒業生からは多くの法曹が生まれ、校友会には法曹支部も設置されるほどに優秀な人材が揃うようになりました。母校の発展を心から嬉しく思います。

一方、現在の社会を見渡しますと、ロボットがビジネスや生活の中に徐々に入り込み、人工知能（AI）やIoTが社会を大きく変えようとしております。ドローンの活用や自動運転車の開発により、そ

れに対応した道路交通法の改正やその他の法律の制定も検討しなければならなくなっています。また、女性活躍推進法が2015年9月に施行されたことにより、企業や社会における女性活躍への対応と働き方改革が叫ばれ、企業も社会もワークライフバランスを真剣に考える時代になって参りました。

龍谷大学法学部にあっては、このような社会の変化の中、今後の60周年、100周年に向けて、人々の真の幸せのために法律はどうあるべきかを探求し、また、法律の活用によって、より多くの人々の生活を守り、幸せの手助けができる人材を育て続けて頂きたいと願っております。そのためにも法学部同窓会としては、大学や学生への支援を今後とも続けて参りたいと考えております。

結びに、龍谷大学と法学部の今後一層の発展、そして、教職員の皆様のご健勝ご多幸を心から念じましてお祝いの辞とさせていただきます。